



令和8(2026)年度 5月号 檀原市立真菅北小学校 令和8年5月1日

真菅北だより

学校教育目標 自ら学び、考え、判断して行動できる心豊かでたくましい児童の育成

4月、クラス替えに思うこと

新学期が始まり、早くも一か月が経ちました。

子どもたちは、新しいクラス、新しい友だち、新しい先生との出会いの中で、それぞれに一生懸命、日々を過ごしてきました。

「前のクラスがよかったな」

「幼稚園は楽しかったな」

「仲がいい友達とクラスが離れてしまった」

そんな思いを抱きながら、少しさみしさや戸惑いを感じていた子どもいると思います。環境の変化は、大人にとっても大きなエネルギーを必要とするものです。子どもたちにとっては、なおさら大きな出来事です。この一か月、見えないところで気を張り、周りに合わせようとしながら、本当によく頑張ってきました。



クラス替えには、新しい出会いを通して自分の世界を広げていくという大切な意味があります。今、仲の良い友だちも、最初から気の合う存在だったわけではありません。はじめは少し距離があった関係も、声をかけ合い、関わりを重ねる中で、少しずつ心を許せる間柄へと変わっていったものです。

自分の居場所も同じように、誰かに与えられるものではなく、自分自身の関わりや行動の中で築いていくものだと考えています。

小学校は、これから社会の中で新しい人間関係を築き、自分らしく安心して過ごせる場を見つけていくための大切な練習の場です。その過程では、思うようにいかないことや、しんどいことも少なからずあります。けれども、その一つ一つの経験が、子どもたちの力となり、次の一歩へとつながっていきます。この一年、新しい仲間とともに歩み、さらに成長してくれることを願っています。

そして、子どもたちにとって家庭は、外で頑張るためのエネルギーを蓄える大切な場です。学校で緊張し、気を張って過ごしている分、ご家庭では安心して心をゆるめられる時間が必要です。うまくできたことだけでなく、うまくいかなかったことや疲れた気持ちも、丸ごと受け止めてもらえる場所があるからこそ、子どもたちはまた翌日、一歩を踏み出すことができます。

どうかこの一か月の頑張りに目を向け、「よく頑張っているね」と温かく声をかけてあげていただき、明日からの連休は家庭での時間を大切に過ごしてください。

「じぶんのために」「みんなのために」

1学期の始業式では、子どもたちにこの2つの言葉を伝えました。自分がやると決めたことに向かって、一歩踏み出すこと。苦手なことにもあきらめずに挑戦すること。昨日の自分より少しでも成長しようとする事。子どもたちの等身大の目標の一部を紹介します。

- ・字をていねいにゆっくりお手本みたいに書く。
- ・そうじをがんばって、ピカピカのきもちでがんばる。
- ・しゅくだいを間違えてもいいから、最後まで自分で考える。
- ・先生の話をしっかり聞いて授業によく取り組む。
- ・あいさつはできてるけど声が小さいから、もっと大きな声であいさつしたい。
- ・みんなが笑顔ですごせるように、自分ができることはぜんぶやりきる。
- ・休み時間外に出たら、二回目のチャイムでいすに座る。
- ・クラスみんなと友だちになれるよう、自分からしゃべりかけたい。
- ・給食で時間に間に合うように完食する。
- ・そうじでぞうきんが苦手だから、ぞうきんが楽しく感じられるようにがんばる。
- ・プールで泳げるようになりたいし、顔に水が当たってもだいじょうぶになれるようがんばる。
- ・8時 20 分の間にランドセルや宿題を出すようにがんばる。
- ・そうじで時間を見て終わらせる。
- ・なわとびが5回できたから 10 回できるように練習をしっかりがんばる。
- ・漢字で書けるところをひらがなで書いているから、習った漢字を使う。
- ・算数の勉強を手がつかれるまでやる。
- ・うっかりミスをなくすために、テストやプレテストの時 3 回ぐらい見直しをする。
- ・新しい勉強だけじゃなく、低学年で習ったさまざまな学習で使える基礎を確認したい。
- ・周りをよく見て、困っている人がいたら自分から声をかける。
- ・毎日学校に来る。
- ・きつく言わずやさしい言葉をつかう。
- ・SNS を見ている時間があるなら予習をする。



新しい学年で「さあがんばるぞ」という子どもたちの気持ち。どの思いも尊いと思います。そんな「思い」「願い」「やる気」に応えられるよう、私たちもしっかりその環境を整えて取り組んでまいります。